

親子聖書日課

NO.1637 2020.2/9-15

名前

[日]詩人は敵に襲われた時、ただ「主よ、助けて」と叫んだのではなく、「御顔の光を輝かせて下さい」と、三度も祈り求めました。御顔の光に触れる時、暗闇は消え、命の光の中を歩めるのです。主が罪と死の間に打ち勝って下さったからです。

[月]雛鳥は口を大きく開けて、親鳥が運ぶ餌を受け取ります。私達も主に依り頼むことによって、信仰が成長します。神は「口を広く開けよ、私はそれを満たす」と言われました。心を広く開けて、御言葉を受け入れる時、主の愛で心は満たされます。

[火]弱者を顧みない、不正な判決が下ることがあります。その時、諦めてはいけません。詩人は「神よ、立ち上がり、地を裁いて下さい」と祈りました。その根拠は「全ての民を嗣業とされる」神にありますから、どんな時も希望を持つことができます。

[水]詩人が敵を滅ぼして下さいと祈った時、敵に対する復讐ではなく、その事によって、彼らが主の御名を求めるようになるためです。すると、敵はもはや敵ではなく、信仰の友になります。敵のために祈ることは、「滅び」ではなく「救い」のためです。

[木]「神の家である教会で過ごす一日は千日にまさる恵み」ではないでしょうか。そこには慰めと賛美が溢れているからです。上尾教会には庭はありませんが、「万軍の主」はおられます。生涯、教会を我が家として、主と深く交わりましょう。

[金]正義のための戦争などありません。「正義と平和は口づけし」とは、正義のある所に平和があります。これが見事に実現したのが、主の十字架です。私達が十字架を見上げる時、「正義と平和」は初めて実現します。平和の主を伝えましょう。

[土]信仰に、本音と建前があってはいけません。「主よ、一筋の心を与えて下さい」とは、「どんな時でも、一本筋の通った信仰者にしてください」という祈りです。それには、主に喜ばれることを求め、日々、自分の十字架を負って、主に従うことです。



	聖書	問題	答え
日	詩編 80:1-20	何の光に輝かせ、私達をお救い下さいと、祈るべきですか。	
月	81:1-17	口をどうするなら、主はそれを満たされますか。	
火	82:1-8	神は何の中に立たれますか。	
水	83:1-19	彼らの顔が悔りで覆われるなら、彼らは何を求めますか。	
木	84:1-13	あなたの庭で過ごす一日は、何日にまさる恵みですか。	
金	85:1-14	慈しみとまことは出会い、正義と平和はどうなりますか。	
土	86:1-17	どんな心を私にお与え下さいと祈るべきですか。	
感想と祈りの課題			